高級中等學校第二外語教育推動計畫電子報

The Newsletter of Second Foreign Language Education for Senior High Schools



以ICT融入第二 外語教學之操作 流程與回饋

-以義守大學與 文山高中為例

謝佳陵/ 義守大學應用日語學系講師 面對全球化與國際環境的變遷,政府積極推動宏觀政策,強 化對第二外語人才的需求。

2020年疫情爆發後,線上課程及數位學習成為新常態,同時促使混成教育的興起。教育部「生生用平板」計劃進一步提升數位學習方案,開啟後疫情時代的教學模式。在資訊科技發達的當今,學生吸收知識的途徑不再僅限於傳統課堂,打破了傳統的銀行式教育。學生熟悉學習運用ICT工具,尤其在第二外語教育中,ICT的應用更是引起熱潮,如人臉及聲音辨識、AI語音輸入、AI值錯功能等,有助於學習者跨越語言學習的障礙。

然而,對於第二外語教育而言,如何適度地應用ICT工具以提升學習者的學習動力,仍然是一大課題和挑戰。本實踐以義守大學長期參與第二外語教育推動計畫為背景,並與文山高中合作,在本期計畫中首次導入ICT工具,以促進學習者對於日語的學習動力。同時,本研究將ICT工具應用於學校的日本姊妹學校之參訪交流活動中,以建立以學習者為中心的日語學習環境。



図1 文山高校と日本姉妹校との交流

1. はじめに

グローバリゼーションと、その影響から 来る国内環境の変化に対応する中で、台湾 政府は積極的に第二外国語教育を推進する マクロ政策を実施し、英語だけでなります。2020年のコロナウイルスのパンデ ミックの発生後、オンラインコースとデ タル学習は新しい教育の「常態」となり 同時に対面とオンライン授業の同時進行で あるハイブリッド教育の台頭を促しました。

教育省の「学生用タブレット」プロジェ クトはデジタル学習の方案を一段と現実化 させ、ポストパンデミック時代の教育モデ ルのあり方を提示しました。現代の情報技 術(IT)の進展により、学生たちは知識を 吸収する手段が従来の授業だけでなく、日 常生活の中でもインターネット検索などに より利用可能となりました。情報通信技術 (以下、ICT) ツールの実践への応用が台湾 教育現場においても盛んになってきてお り、学生たちはすでにICTツールの活用に慣 れ、第二外国語教育においてもICTの応用実 践が注目を集めています。例えば、AIによ る音声認識、音声入力、文法エラー検出と いった機能が、学習者が言語学習の障害や 不安を克服するのに役立てられています。

しかし、第二外国語教育におい て、どのように適切なICTツール を活用して、学習者の学習意欲を 向上させるか、 というのは依然 として大きな課題と挑戦です。 本実践では長年にわたり第二外国 語教育推進計画に参加している義 守大学と、文山高校との協力を通 じて、文山高校におけるAP日本 語クラスで、ICTツールを導入 し、学習者の日本語学習意欲に対 する影響を探求しました。同時 に、本実践ではICTツールを日本 姉妹校の文山高校への訪問交流活 動に応用し、学習者中心の日本語 学習環境を構築するようにデザイ ンしました。

2. 本実践のクラス構成と課題

本実践のAP日本語クラスには、高校生17名が受講しています。そのうち女子学生が5名、男子学生が12名です。クラスを受講する前に、全学生が基礎の五十音を習いました。APコースは秋学期とと春学期の2学期にわたりますが、この期間の前半の授業方法学生が講義型の受け身の授業方法

に対して、あまり高い学習意欲が見ら れないことが観察されました。授業内 の練習も、最初は主に教師主導で、教 師と学生の練習に焦点を当て、学生同 士の練習の機会が少なかったように思 われました。そのため、学生に事前に1 人1台タブレットを借りてもらい、 Jamboard [1] 、Classdojo [2] 、Quizlet [3] 、Wordwall [4] 、Flip [5] 、 Classroom live [6] などのオンラインツ ールを活用し、授業のテーマに合わせ て、教室内だけでなく、キャンパス内 で実際に練習する機会を増やしまし た。また、学校の日本の姉妹校との交 流訪問が重なったことから、筆者はク ラス内の学生と日本の学生との交流を 企画し、練習の成果を日本の学生と共 有し、学習動機を刺激しました。

2.1 実践理論・方法

本実践における授業デザインは「経験の円錐(Cone of Experience)」 (Dale, 1969)の理論が採用され、能動



図2 Quizletによる単語テストの様子



圖片 Evgeniia Primavera/Shutterstock.com

的な学習と受動的な学習に分けられています。教科書のユニットに合わせ、上半期は合計12のテーマに分かれています。そのテーマに沿って、①語彙・会話、文法のインプット(受動的な学習)、②学生同士での会話練習(能動的な学習)、③ビデオ制作(能動的な学習)、の3つの段階がデザインされました。

[1] Jamboardとは、参加者全員に共有し同時編集が可能なオンラインのホワイトボードツールのことである。

https://edu.google.com/intl/ALL_tw/jamboard/ (2023/1/13)

[2] Classdojoとは、学生のグループ管理や、平常点 管理ができるクラス運営のオンラインソフトのこと である。 https://www.classdojo.com/ (2023/1/13)

[3] Quizletとは、オンラインのクイズソフトのことである。https://quizlet.com/jp(2023/1/13)

[4] Wordwallとは、授業で活用できるアクティビティやゲームを提供するオンラインソフトのことである。https://wordwall.net/tc(2023/1/13)

[5] Flipとは、ユーザーが個々にビデオをとって、管理掲示板にて共有できるオンラインソフトのことである。https://info.flip.com/en-us.html (2023/1/13)

[6] Classroom liveとは、オンラインで課題や評価の管理ができるオンラインアプリのことである。 https://play.google.com/store/apps/details? id=com.beyond.classroom.live&hl=ja&gl=US (2023/1/13) 



図3 Jamboard上のワークシート(左)、及びインタビュータスクの様子(右)

①の語彙の導入部分では、事前に学生は音声ファイルを繰り返し聞き、教科書の語彙に習熟し、Flipを使用して語彙の発音をビデオに録画し、掲示板へのアップロードをしました。また、図2は、生徒が授業前10分間にWordwallおよびQuizletプラットフォームを使用して単語をテストしている様子です(図2)。その後、教師は会話と文法の部分を説明し、ドリルの形式で習得を強化します。



次に、②学生同士での会話練 習では、クラス全体をグループ に分け、各グループは Jamborad を 使 用 し て 、 Jamboard上に教師が作成した ワークシートを完成させます 。 Jamboardを使用することよ り、教師が各学生の練習状況を 一つひとつ把握することがで き、指導をすることができま す。図3は、「一週間の計画」 をテーマにして「~から~ま で...」の文法を練習し、インタ ビュータスクを行い、完成後に クラス内で発表する様子です (図3)。

図4 Flip上の各テ ー マ の 掲 示 板 (左)、及び学生が 撮影した学校紹介の ビデオ(右)



図5 日本姉妹校との文山高校校内の案内活動の様子

最後に、③ビデオ制作では、教 科書のユニットのテーマに合わ せ、教師は日本語の下書きを提供 し、Flipを使用して動画を録画し ます。学生は教室で口頭の練習を 行い、各ユニットに基づいて短い 映像を録画してアップロードしま す。図4は、生徒が「私の学校 (紹介)」というテーマで、キャ ンパス周辺で動画を撮影している 様子です(図4)。動画を完成さ せるために、事前に学生は教科書 で学んだ単語に加えて、紹介に必 要な未習の単語を自分で調べ、AI 音声認識機能を使用して発音を練 習しています。この練習により、 学生は実際の状況で使用される日 本語を身につけ、アウトプットの 機会も持つことができます。

3. 文山高校日本姉妹校との交流実践

AP日本語のクラス以外にも、日本姉妹校 の台湾訪問の機会にも恵まれため、AP日本 語クラスの学生全員が交流に参加しまし た。 学生たちは協力して、交流活動の役割 を分担し、司会からアクティビティまで、 全ての進行を学生中心に実施しました。交 流活動では、台湾の学生が授業で学んだこ とを実際に活用し、日本の生徒を校内周辺 の案内役を務め、競争ゲーム形式で課題を 達成するようデザインされました。図5は、 台湾と日本の学生が校内で三角形の物を探 し、写真を撮ってから教室で発表している 様子です(図5)。この交流活動では、学生 たちは実際に口頭で日本語を使用してコミ ュニケーションをしていました。この活動 では、日常的な学びだけでなく、スマート フォンなどを活用して、活動に関連する画 像や語彙を検索してコミュニケーションを 成功させることもできました。



圖片 inspiring.team/Shutterstock.com

交流反思

本次活動,當任了主持人學到了非常多東西,包括: 怎麼控制時間,如何讓場面沒有那麼尷尬,如何寫草稿。最讓我印象深刻的是如何寫草稿,寫草稿的過程中,我學到了非常多敬語,也學到該如何寫出草稿。 其次讓我有印象的是如何讓現場不要那麼尷尬,因為 我本身比較內向,不太敢做出效果,但經過了這次的 體驗,也發現上台沒有那麼的緊張,真的非常謝謝老 師給我本次的機會

図6 交流会で司会を担当した文山高校の学生の学びのプロセスの内省

4. 本実践の成果と課題

本交流実践の終了後、実施されたインタビューを実施しました。その結果のといる。そのにはました。そのにはませて、「授業で先生がFlipを使って少ないではない。などではないでは、緊張を使って少ないでもないがでもないでもないでもないでもないでもないでもないです」といる。に関するに関するに関するに関するに関するに関するに関するに関するにです」といるにはいてできました(図6)。

特に司会を担当した学生は敬語の使い方や、司会進行のための原稿作りの重要性について触れていました。また、自らの性格が内向的なため、普段は場を意識した盛り上げる話し方などが上手くできなかったが、この経験を通して徐々に緊張がほぐれ、話すことができるようになったと語っています。

このように学生達が、日本人学生との 交流会で緊張がとけ、コミュニケーショ ンが取れるようになった要因として、 普 段の授業でのICTツールの活用による アウトプットの機会の豊富さが挙げ られると思われます。ICTツールを使 用することにより、現実の場面を想 定した言語使用が実現できるだけで なく、学生の学習動機の向上にも繋 がったと言えるでしょう。

しかし、ICTツールの応用の上で、 上半期の授業で2つの問題に直面し ました。1つ目は、Wi-Fi回線の脆弱さ により、授業の進行が遅れてしまっ たことです。教室からWi-Fi機器の設 置場所は距離があり、同時に17台の タブレットを使用すると、Wi-Fi回線 のスピートが遅くなる現象が発生し ました。2つ目は、授業で効果的な タイムマネジメントが必要だったこ とです。今回のコースでは多くのオ ンラインソフトやツールが応用され ましたが、アプリケーション間の切 り替えに不慣れな学生は操作に手間 取り、教師はその対応に追われ、授 業の遅れが頻繁に発生しました。し たがって、ICTスキルが高くない学生 には、他の練習に時間をかけて操作 するように支援する必要があること が明らかとなりました。

本実践で明らかとなった課題をもとに、次の実践では学生の個々のICT スキルも見極めて、さらに効果的な 応用を探求していきたいと考えてい ます。

参考文献

高級中等學校第二外語教育推動計畫網站。 取自

https://shs.k12ea.gov.tw/site/2ndflcenter

Dale, E. (1969). Audiovisual methods in teaching (3rd ed.). New York: Dryden Press.

業務宣導

- 1. 本計畫已完成「112年度高級中等學校第二外語教育推動計畫」之各項業務,並已辦理112年度委辦之期末報告及核結作業。
- 2. 預計於2月召開113學年度高級中等學校第二外語教育委員會議。
- 3. 轉發財團法人語言訓練測驗中心2024年2月2日(週五)「日本語教師養成工作坊 第一場:五十音教學法」線上講座資訊如下:
 - (1) 本中心係日本京都大學及日本臺灣交流協會等指定合作單位,亦為知名《日本語GoGoGo》系列教材之出版單位。
 - (2) 本講座結合日語教學理論及實務,並示範如何將素養導向概念及溝通互動策略融入教學。內容包含平假名,片假名之導入方法、書寫與發音指導方式,並分享班級經營、誤用分析、教材分析、課堂評量、教案作成等教學策略與心得。
 - (3) 本講座將使用Google Meet平台,即日起開放報名。
 - (4) 詳細資訊如下:

A. 日期: 2024/2/2 (週五)

B. 時間:19:20-20:30

C. 報名網址:https://bit.ly/3NseZBu,歡迎各校第二外語教師踴躍報名!

特色開班

1. 國立後壁高級中學

教學特色:

該校開設日語、法語及越南語課程,除了安排課堂體驗活動外,同時介紹各國文化、美食相關知識,像是法語影片欣賞、課堂演示及報告等,多元的課程內容讓學生更瞭解當地國家的民俗風情及文化,並提升學生的語言、會話能力。









日語上課情形及實作體驗

特色開班

1. 國立後壁高級中學









1 2 3

1:法語報告

3:越語演示

4:越南飲食文化實作

2:法語影片欣賞與說明

2. 臺中市私立玉山高中

教學特色:

該校開設日語課程,主要透過不同的課程主題及語言基礎訓練,像是日本茶道體驗、章魚燒美食實作及花見賞析等,讓學生能夠更深入認識日本的多元文化及民俗風情,以及提升學生的學習興趣及動機。



日本茶道實作



章魚燒實作







右上及右下: 花見賞析



本頁資料及照片來源:國立後璧高級中學、臺中市私立玉山高中

特色開班

3. 實踐大學應用日語學系(日語初階班)

教學特色:

透過學生於課堂演說及會話討論之過程,除了讓學生加強練習自身的語言能力外,並提升學生的學習動機及興趣。此外,在課堂安排日本的文化活動,像摺紙、繪畫等多元體驗,讓學生更深入瞭解當地的民俗風情及文化特色。





左:會話發表

右:體驗日本文化,折り紙体験

(ひな人形)

本頁資料及照片來源: 實踐大學應用日語學系

異國風情:1月文化節慶介紹

1. 蘇格蘭聖火節(Up Helly Aa)

每年1月最後一週的禮拜二為蘇格蘭一年一度的聖火節,起源於1200年前,來自北歐維京人的驍勇善戰、駕船征討,當戰爭取得勝利時,維京人就會盛大舉辦火祭,以悼念為戰爭犧牲的維京戰士們。所以,這個傳統的「火祭」習俗,流傳至今演變成維京人特有的「聖火節」。

聖火節通常會在英國蘇格蘭東北部的設得 蘭群島(Shetland)舉行,先前因疫情被 迫停辦2年,後來於去年(2023)恢復舉 辦,同時也是首次允許「女性」參與扮 裝,據說自維多利亞時代以來,聖火節的 扮裝遊行皆會嚴格限制僅讓男性參與,故 有開放女性參與活動也是維京人傳統的極 大轉變。



(參考資料及 圖片來源: https://reurl. cc/67ZLGO, https://reurl. cc/97G10V, https://reurl. cc/2zZ87O)



異國風情:1月文化節慶介紹



(參考資料及圖片來源:https://reurl.cc/QeLe6b, https://reurl.cc/qr5rl3, https://reurl.cc/Z9A9jp)

2. 俄羅斯聖誕節 (Рождество в России)

廣為大眾熟知的聖誕節為每年的12月25日, 但在俄羅斯的聖誕節則是每年的1月7日,因 為俄羅斯東正教的儒略曆相較於一般的西曆 晚兩週,故每年的聖誕節皆會在1月的時候度 過。此外,在西元1991年蘇聯解體後,國家 的宗教體制被打破,讓俄羅斯的聖誕節被訂 立為法定公眾假日。

由於東正教的傳統,人們除了在這天會在教 **堂慶祝聖誕之外,還會盛大舉辦許多聖誕市** 集,一同享受聖誕佳節氛圍。此外,在聖誕 節當天,俄羅斯人通常會全天禁食禱告,或 不食肉類,直到晚上才會正常飲食。

而依照俄羅斯宗教的傳統,通常餐桌會擺放 12道菜,以此紀念耶穌基督的12位門徒。

大學二外:第二外語相關系所介紹



Department of Japanese Language and Literature

(參考資料及圖片來源:https://reurl.cc/WRX2by)

1. 中國文化大學日本語文學系

該系成立於民國83年,原為東方語文學系日語組,同時也是國內最早成立日文系組的大學院校。主 要的教學目標為強化日語文之學習及活用,並培育具備日本傳統及現代文化之基本學識等。

該系也同時成立碩士班,以培養學生獨立思考能力,及著重學術理論基礎,建構對日研究概念,讓 學生成為對日交流之專業人才。

系網:https://crc012.pccu.edu.tw/

112學年度第1學期全國高中及大學預修專班開設第二外語課程統計:

全國高中開設第二外語課程,總計共323校開設14語種、2,063班、修課人數51,118人。 全國大學開設第二外語預修專班,總計共25校、39系所/單位開設13語種、96班、修課人數1,945人。

詳情請見高級中等學校第二外語教育推動計畫網站公告「開課統計資料」,

網址: https://shs.k12ea.gov.tw/site/2ndflcenter/category?root=10396&cid=10413

大學二外:第二外語相關系所介紹



淡江大學

德國語文學系

Department of German, Tamkang University

(參考資料及圖片來源: https://reurl.cc/yYe3XO)

2. 淡江大學德國語文學系

該系原為外國語文學系德國語文組,直到民國64學年度正式改為系所,主要教學目標為培養專業德語人才,讓學生能具備德語基本能力,以及瞭解德語語言學、文化、商務及文學相關知識。

有關系所學生之未來發展,該系也規劃多元課程,像是規定大一至大四學生閱讀書單,列為課程內容之一,同時針對大三至大四學生試辦德文翻譯課程,分為一般翻譯及商用翻譯,讓學生加強自身語言及文法架構能力。

系網: https://www.tfgx.tku.edu.tw/german?lang=zh-tw

語言學習

線上語言學習資源



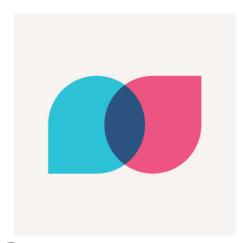
* Hello Pal

(參考資料及圖片來源: https://reurl.cc/13oROV)

1. HelloPal

HelloPal是一款翻譯聊天的軟體,提供多國語言翻譯,並讓使用者能錄製聲音,而不只是單純以文字表達。該款App透過與各國母語人士聊天的方式,讓使用者能多學習、多接觸各國語言之語法及文句結構等,以提升自身的文法及發音會話能力。

官網:https://www.hellopal.com/?lang=zt



2. Tandem

Tandem是一款提供多國語言交換的聊天學習App,使用者可透 過軟體,直接與各國母語人士互動、聊天,同時軟體可直接翻譯 自己與對方所表達的文句,也有提供檔案、錄製音訊等功能,讓 使用者能透過不同方式,表達自身想傳達的語意。

官網:https://www.tandem.net/zh-hant

(參考資料及圖片來源: https://reurl.cc/j3gnqy)

語言學習

語言檢定相關資訊

1. J.TEST實用日本語檢定

報名日期:即日起至113/2/8截止,

需完成繳費才算報名完成。

考試日期:113/3/10 (第173回考試) A-C級:上午09:50-12:15 (125分鐘) DE級:上午09:50-11:55 (105分鐘) FG級:上午09:50-11:40 (85分鐘)

報名連結:https://www.j-test.org.tw/exam

J.TEST 實用日本語檢定

第173回

截止日期:2024.02.09(五) 檢定日期:2024.03.10(日)

【考場】

台北:實踐大學台北校區、東吳大學(城中校區)

桃園:元智大學 台中:逢甲大學(校本部)

台南:台南應用科技大學、嘉南藥理大學

高雄:文藻外語大學、實踐大學高雄內門校區

(參考資料及圖片來源:https://www.j-test.org.tw/)

差異比較	J.TEST _{実用日本語検定}	□本語能力試験 JLPT □□□□□□
考試頻率	一年六次(每個單數月)	一年兩次(7月、12月)
考試地點	台北、桃園、台中、台南、高雄	台北、桃園、台中、高雄
檢定費用	A-C級:1,400元·在學學生及低收入戶:1,200元 DE級:1,300元·在學學生及低收入戶:1,100元 FG級:1,200元·在學學生及低收入戶:1,000元	N1 - N3:1,600元 N4、N5:1,500元
題本是否可帶回	考試結束僅需繳交答題卡・試題本可以帶回。	不可以將試卷帶回去。 若帶走試卷將取消應試資格。
報名截止日	考試日約1個月前	考試日約3個月前
解答公布	考試結束後三天於官方網站公告正確解答 與開放聽力MP3下載。	不公布解答
成績及成績單寄發	考試結束30天內於網站開放個人成績查詢· 50天內發放檢定成績單與檢定證書。	測驗後約50天可查詢成績· 證書寄送要超過3個月
應試解答分析	J.TEST檢定注重實際應用能力的測試,在每回檢定後, 不單是發送成績單與級數證書(達頒證之考生), 更提供考生在當回檢定考試的應試解答分析。	無應試解答分析

J.TEST與JLPT差異比較表,參考資料及圖片來源:J.TEST實用日本語檢定官網,網址:https://www.j-test.org.tw/。



2. TOPIK韓國語文能力測驗(第93期)

測驗日期:2024/4/14(日)

報名方式:1.登入會員,

2.填資料+上傳照片+繳費,

3. 照片審核合格

報名網址:https://www.topik.com.tw

本其他測驗相關資訊,請見下表:

測驗級數	TOPIK I	TOPIK II
報名期間	2023年12月29日~2024年1月16日	
測驗地點	台北、台中、高雄	
測驗項目	聽力、閱讀	聽力、寫作、閱讀
測驗費用	NT\$1,100	NT\$1,400
成績公布	2024年5月30日	

(參考資料及 圖片來源: 語言訓練測驗中心 韓語測驗小組提供)

學生園地

112年度高級中等學校第二外語教育推動計畫 電子報徵文優選作品-西班牙文

作品題目:En clase y fuera de clase de español作 者:臺北市私立幼華高級中學 吳柏昇

指導教師:區國銓老師

Soy estudiante de bachillerato en Taipéi, en el primer año de secundaria, tuve que elegir la clase de segunda lengua extranjera entre japonés, alemán, francés y español.

Preferí aprender el español por las siguientes razones: primero porque tengo amigos peruanos y quiero hablar con ellos en su propio idioma, y segundo recibí el apoyo de mi papá, porque según él, el español es la segunda lengua más hablada en el mundo.

Me di cuenta de que ya tenía conexión a la lengua española porque yo escuchaba las canciones españolas y latinoamericanas, ¡Me encantan! Además, leía la historia de Latinoamérica, sobre todo, la época de la independencia de Sudamérica.



圖片 freepik/freepik.com



圖片 rawpixel.com/freepik.com

¿Cómo fue mi primera clase de español? Pues creo que fue muy guay, porque cuando entré al aula, vi a dos profesores simpáticos dándome la bienvenida. Ellos eran argentinos, y me hablaron mucho de su país.

Después de escuchar su historia y experiencia me inspiró para estudiar el idioma. Otra razón es que a mí me gustan el béisbol y el fútbol, los equipos latinos de béisbol son muy buenos, y mis futbolistas favoritos son Leo Messi y Diego Maradona, por eso al final, elegí el español.

Lo que más me gustaba de la clase de español era hablar en clase, me divertí mucho. No solo aprendía la lengua sino también podía hablar de varios temas, como el fútbol, la música y la cultura con mis profesores y mis compañeros de clase.

學生園地



圖片 brgfx/freepik.com

Lo más difícil era escribir en español, la vez pasada hice el examen y lo hice mal, eso me puso triste, sin embargo, como decía el filósofo alemán Friedrich Nietzsche: "lo que no te mata, te hace más fuerte", y como mi ídolo Leo Messi siempre quiere mejorar el fútbol, yo también quiero mejorar mi español. Creo que escribo mejor que antes y mi meta es aprobar el examen DELE.

Además, había muchas actividades relacionadas con la cultura, por ejemplo, hacer un cartel de la cultura mexicana, elegí "Día de Muertos", tuve que investigar y presentar dicha cultura. Yo amplié el conocimiento de la cultura mexicana en esa actividad.

Y una vez mis compañeros y yo cocinamos las comidas españolas en clase con la ayuda de nuestros profesores. Hicimos la tortilla de patatas y las tapas, eso fue una experiencia única y divertida.

Necesito practicar el idioma por mi cuenta para que pueda hablarlo con fluidez, por eso, quería practicar el español fuera de clase, cada viernes por la noche me conectaba con mis amigos peruanos a través de Google Meet, y cuando tenía dudas, los profesores me ayudaban a solucionarlas.

Creo que para perfeccionar la lengua hay que usarla en contexto real, por eso, me gustaría compartir una de mis experiencias de usar el español en la vida cotidiana. Hace 4 meses cuando fui a la Feria de Sello en Taipéi para comprar unos sellos antiguos, al ver el puesto de Correos de España, no dudé en acercarme y hablé con ellos, ahí conocí al gerente y a los empleados.



圖片 macrovector/freepik.com

學生園地

Ellos se sorprendieron mucho cuando me escucharon hablar el español, me dijeron que hablo muy bien el español. Hablamos sobre muchas cosas por los intereses en común que tuvimos. En ese momento, me di cuenta de que poder hablar una lengua extranjera es una maravilla, y me siento orgulloso de mí de mismo.

Por último, creo que aprender una lengua extranjera no sólo sirve para comunicarse, sino también para conocer una cultura distinta.

El aprendizaje de la segunda lengua extranjera ha sido muy importante y útil para mí, aprendo mucho en clase y fuera de clase. Además, aprender el español me abre otro mundo abierto. Durante este viaje habrá algunos fracasos, pero intentaré superar todas las dificultades que tendré.



圖片 pikisuperstar/freepik.com

電子報下期預告:

- 1.113年2月號專欄文章,將由 臺中市立惠文高中楊慧中老 師,帶來有關德語教學經驗 分享。
- 2.113年2月號徵文優選作品, 將展示新北市私立南山中學 鄭羽岑同學以西班牙文撰寫 的作文,敬請期待!

即刻訂閱,掌握第二外語教育新鮮事!

訂閱連結:https://forms.gle/RVkynhnkpMqNpvUF7

發行單位

出版者:教育部國教署高級中等學校第二外語教育推動計畫委辦學校一國立臺南高級商業職業學校發行人:黃耀寬校長 撰 文:張資宜專案助理 電 話:06-2617123 #573、576

總編輯:張家榮主任 美術設計:王馨蔓專案助理